

令和3年度第1回沖縄県振興推進委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和3年4月22日(木) 13:30~15:30
- 2 開催場所 沖縄県庁6階第1、第2特別会議室
- 3 出席者 玉城知事、謝花副知事、照屋副知事、島袋政策調整監、知事公室長、総務部長、企画部長、環境部長、子ども生活福祉部長、保健医療部長、農林水産部長、商工労働部長、文化観光スポーツ部長、土木建築部長、教育長、病院事業局長、企業局長、県警本部警務部参事官(県警本部長代理)
- 4 議題【審議事項】
 - (1) 新たな沖縄振興のための制度提言(案)について
 - (2) 沖縄県アジア経済戦略構想推進計画改訂(案)について【報告事項】
 - (3) 沖縄県PDCA実施結果について(対象年度:令和元年度)
- 5 議事概要
 - (1) 議題1 新たな沖縄振興のための制度提言(案)について
 - ア 事務局が資料1-2「新たな沖縄振興のための制度提言(案)説明資料」に基づき説明を行った。
 - イ 各委員(各部局長等)が資料1-1「新たな沖縄振興のための制度提言(案)」に基づき各部局が提案する制度の一部について説明を行った。
 - ウ 議題に対して出席者から次の質疑があった。
 - (ア) 委員長(知事)から提案する制度の内、「ウィズコロナ・アフターコロナの新しい生活様式に求められる新たな視点」に関する制度の提案状況について確認があった。
 - (イ) 副委員長(謝花副知事)から資料1「新たな沖縄振興のための制度提言(案)」の8ページに記載の「新たな沖縄振興に向けたスケジュール(予定)」について質疑があった。
 - (ウ) 委員から今後の国との調整スケジュールに関する質疑があった。
 - エ 出席者からの質疑に対して委員及び事務局から次の発言があった。
 - (ア) 委員から提案する制度の内、「ウィズコロナ・アフターコロナの新しい生活様式に求められる新たな視点」に関する制度の説明があった。
 - (イ) 事務局から資料1-1「新たな沖縄振興のための制度提言(案)」の8ページに記載の「新たな沖縄振興に向けたスケジュール(予定)」について一部修正を行うとの説明があった。
 - (ウ) 委員及び事務局から国との調整スケジュールに関する説明があった。
 - オ 「新たな沖縄振興のための制度提言(案)」については、資料1「新た

な沖縄振興のための制度提言（案）」の 8 ページの「新たな沖縄振興に向けたスケジュール（予定）」について、事務局で修正を反映させることで、全会一致で了承された。

カ 議題が了承された後、委員長（知事）から次の発言があった。

(ア) 本県は、令和 4 年度に復帰 50 年を迎える。この大きな節目から始まる新たな沖縄振興については、ウィズコロナからアフターコロナに向けた将来を見通し、県経済の迅速な回復に繋げるとともに、大胆な制度の下で、新時代沖縄を展望しうる、より深化した振興策の展開を推進する必要がある。

(イ) 今後は、本提言を公表し、国へ要望することとしており、内閣府及び関係省庁との調整を密に行い、また市町村や関係団体とも連携を図りながら、沖縄振興特別措置法の延長や、今回提言する制度の実現に向け、全力で取り取り組むこと。

(2) 議題 2 沖縄県アジア経済戦略構想推進計画の改訂（案）について

ア 事務局が資料 2-2 「沖縄県アジア経済戦略構想推進計画の改訂（案）について」に基づき説明を行った。

イ 委員長（知事）から「沖縄県アジア経済戦略構想」と「沖縄振興のための制度提言」及びこれから取りまとめる「新たな沖縄振興計画（素案）」との関係について確認があった。

ウ 「沖縄県アジア経済戦略構想推進計画の改訂（案）」については、事務局案のとおり、全会一致で了承された。

エ 議題が了承された後、委員長（知事）から次の発言があった。

(ア) 今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、アジア地域は、社会的・経済的影響を受けているものの、アジアのダイナミズムはそのポテンシャルを維持しており、今後も発展が見込まれている。

(イ) 同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受けている沖縄県経済の早期回復を図るためには、アジアのダイナミズムを更に取り込むことが重要であることから、引き続き、その活力を取り込むための取組を進める必要がある。

(ウ) 水際対策を含め、感染拡大防止と県民生活の安定並びに経済の回復に向け取り組んでいるところであるが、改訂後の推進計画に基づく取組を着実に進めること。

(3) 議題 3 沖縄県 P D C A 実施結果について（対象年度：令和元年度）

ア 事務局が資料 3 「沖縄県 P D C A 実施結果について（対象年度：令和元

年度)」に基づき説明を行った。

イ 議題に対して委員長、副委員長（謝花副知事）から次の発言があった。

- (ア) P D C A実施結果をしっかりと確認し、今年度の取り組み及び新たな振興計画の策定作業にも活かすこと。
- (イ) 施策の推進状況の分析で、計画値を達成していない成果指標の要因分析で「内部要因（周知・啓発不十分）」の件数が多くなっていることに関連して、各部局がそれぞれで行っている周知・啓発の取り組みを相互連携し、対応すること。
- (ウ) 外部要因について、予め予測されるものについては、取り組みを展開させ、しっかりと対応すること。

ウ 議題の報告終了後、委員長（知事）から次の発言があった。

- (ア) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、影響が様々な面で生じているが、そのことは、今回のP D C A実施結果においても、感染拡大に伴う事業の中止など、県の取組等に対しても、影響を及ぼしていることが確認できた。
- (イ) 令和3年度は、沖縄21世紀ビジョン基本計画の最終年度でもあり、新型コロナウイルス感染症による影響も考慮しつつ、社会の情勢・動向・ニーズなどを的確に把握するための情報収集と共有に努め、今回のP D C A検証結果により、明らかになった課題等に対する改善案を取組に反映させ、計画の総仕上げに向けて全力で取り組むこと。

以 上